

キャリアデザイン学を体系的に学べる 日本初の大学院

企業や公共団体、NPO、大学、高校などの人事・教育・キャリア支援担当者、キャリアコンサルタントとしてより高度な専門職を目指す方などを対象とした研究科です。経営学、教育学と、隣接する学問分野を背景に個人のキャリアを学際的に解明します。授業は2時限連続で夜間と土曜日に開講、半期で修了します。

キャリア支援や生涯学習の視点を重視する「キャリア教育・発達プログラム」と、組織の中でのキャリア形成・支援の視点を重視する「ビジネスキャリアプログラム」の2プログラムを設定。研究の基礎となる調査法を基礎科目で修得し、心理学関連科目を中心とした共通科目を学んだ上で、プログラム科目と演習科目でそれぞれの領域の専門性の涵養と研究の深化を目指します。

アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)
<p>企業や公共団体、NPO、大学・高校などの機関で人事・教育・キャリア支援などを担当する方や、キャリアコンサルタントとして、より高度な専門職を目指している方などを積極的に受け入れる。</p> <p>選抜は秋季・春季1回ずつ合計2回、筆記試験ならびに口述試験による選抜試験を行っている。口述試験では、「研究計画書」及び「キャリアヒストリー報告書」に基づいて丁寧な面接を行う。筆記試験ならびに口述試験の結果に基づき、上記ポリシーに即した人材の選抜を行っている。</p>	<p>基礎科目・共通科目をベースにキャリア教育・発達プログラム、ビジネスキャリアプログラムの2分野のプログラムを設置している。それぞれのプログラム科目には、キャリア発達科目群、キャリア・プロフェッショナル科目群、キャリア政策科目群という、ミクロ・メゾ・マクロの3分野からなる科目群を配置している。</p> <p>それらの科目の履修の上で演習科目において修士論文指導を行う。</p>	<p>「経営学、教育学と隣接する学問分野をバックグラウンドにした個人のキャリアの学際的な解明」、「企業、公共団体、NPO、大学・高校などでキャリア支援を担う高度職業人の養成」という教育理念を踏まえ、所定の単位を修得し、修士論文の審査に合格し、以下に示す水準に達した学生に対し、「修士（キャリアデザイン学）」を授与する。</p> <p>DP 1. 学際的な専門知識を身につけている DP 2. 自らの職業経験を生かした研究課題を設定できる DP 3. 社会調査の手法を駆使した実証的な研究を遂行できる</p>

研究室紹介

廣川 進 教授

キャリアとメンタルヘルスの統合的アプローチをめざす

現場実践に活かせる 研究の問いを立てることから

私の専門はキャリアカウンセリングと臨床心理学。研究テーマは復職支援など産業領域における心理的支援、メンタルヘルスとキャリアの統合、惨事ストレスなどです。担当授業の「キャリアカウンセリング論」では、スーパー、クランボルツ、サピカらの理論についてのテキストを院生が分担して発表し討議します。院生が社会人である特色を活かして、それぞれの現場で起きている問題、事例検討を行い、理論モデルと具体事例の間を往還しつつ、現場で役立つ実践的な知見を得られるようにしています。修論についても、研究のための研究ではなく、自分の現場の問題から問いを立て、問題解決への糸口が見つかるような研究計画をめざしています。



学生・修士生の声

横山 礼子 修士課程 2017年度修了

大学院生活で培った手法を活かし ダイバーシティ戦略を実行する

専攻の魅力

修士論文のゼミは、教授1人に対して学生が1、2名とほぼマンツーマンで指導いただけるという、大変贅沢な環境でした。また、1学年あたりの学生数が少人数ゆえにまとまりが良く、情報交換やディスカッションも頻繁に行われました。多様な意見を聞き、議論を重ねることにより、思考の幅を広げることができました。

将来の目標

人事部長として実務でのキャリアを重ねてきましたが、学術的な視点から人と組織の成長とその支援について学びたいと思い入学を選択しました。修士課程を修了した後は、社内のダイバーシティ戦略の実行を任されています。大学院での学びを活かし、組織にあった形で展開できるように日々奮闘しています。

研究テーマ

女性営業職のキャリア意識を規定する要因に関する研究

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
上西 充子 教授	労働問題、キャリア教育	学校から職業への移行過程と初期のキャリア形成、ならびに、それに関わる支援の在り方	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、キャリア教育論
児美川 孝一郎 教授	教育学	青年期教育、キャリア教育	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、キャリアガイダンス論
笹川 孝一 教授	教育学、生涯学習学、環境学	リテラシー・学力・コンピテンス研究、持続可能な社会のための教育	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、生涯学習論
高野 良一 教授	教育行政学、学校改革論	学校イノベーションの日本比較	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、教育経営論
筒井 美紀 教授	教育社会学、労働社会学	地域就労支援政策、高校生や大学生の進路・就職、労働教育	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、教育社会学
田澤 実 准教授	教育心理学、生涯発達心理学	キャリア教育の効果測定、包括的な若者支援	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、教育心理学
梅崎 修 教授	労働経済学、教育経済学、人事組織経済学	人材マネジメントの分析、キャリア教育の効果測定、初期キャリア形成の分析	※今年度は、特定の科目を担当しません
木村 琢磨 教授	組織行動論、経営組織論	企業における組織内政治とパワー、非公式リーダーシップ、組織の活性化	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、経営組織マネジメント論
坂爪 洋美 教授	産業・組織心理学	ダイバーシティが進む中での管理職の役割・女性のキャリア	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、産業・組織心理学
佐藤 厚 教授	産業社会学、人的資源管理論、雇用政策論	ホワイトカラーの仕事とキャリア、労働時間管理とワークライフバランス、人材育成論	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ
武石 恵美子 教授	人的資源管理論、女性労働論	働き方の多様化と人材マネジメント、女性のキャリア形成	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、キャリア開発論
松浦 民恵 教授	人的資源管理論、労働政策	働き方改革、非正規社員のキャリア形成、女性や高齢者の活躍推進、幹部候補の人材育成	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、職業キャリア政策論
齋藤 嘉孝 教授	社会学、社会調査、家族論	家族やそれを取り巻く社会環境と、関連する諸政策・制度	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、量的調査法
佐藤 恵 教授	社会学、社会調査	支援の社会学、社会問題の社会学、犯罪社会学	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、質的調査法
田中 研之輔 教授	ライフキャリア論、社会調査、エスノグラフィ	広く「社会集団」に関する理論的・経験的な社会学的考察	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、コミュニティとキャリア
廣川 進 教授	臨床心理学、キャリアカウンセリング、産業心理学	メンタルとキャリアの統合	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、キャリアカウンセリング論
安田 節之 教授	プログラム評価論、コミュニティ心理学	心理教育プログラムや社会サービスの評価研究、高齢者のライフキャリア研究	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、コミュニティとキャリア
熊谷 智博 准教授	社会心理学、グループダイナミクス	集団間紛争及びその解決・和解に関する心理過程研究	キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ、キャリア調査研究法基礎

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

設置科目【修士課程】

- キャリア調査研究法基礎(2)
- 量的調査法(2)
- 質的調査法(2)
- 生涯発達心理学(4)
- 教育心理学(4)
- 産業・組織心理学(4)
- キャリアカウンセリング論(4)
- コミュニティとキャリア(4)
- キャリアガイダンス論(4)
- 教育経営論(4)
- キャリア教育論(4)
- 教育社会学(4)
- 生涯学習論(4)
- キャリア開発論(4)
- 人的資源管理論(4)
- 経営組織マネジメント論(4)
- 人事組織経済学(4)
- 職業キャリア政策論(4)
- キャリアデザイン学演習Ⅰ/Ⅱ(各2)

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数

修士の研究テーマ

- DMO組織における民間企業出身者のパフォーマンスに関する探索的研究
- 食文化に携わるフリーランスのキャリア形成
- 新入社員教育における教育担当者の改善プロセスの分析
- 女性営業職のキャリア意識を規定する要因に関する考察 一外資系医療機器メーカーA社の事例一
- 学生の就職活動・就職支援の活用を阻害する要因の考察
- 小学校教員養成課程の学生におけるキャリア形成プロセス 一学年差に注目して一
- 女子大生に対する4年間の体系的なキャリア支援プログラムの検証 一都内カトリック系女子大学のグローバルビジネスプログラムを事例として一
- 入試担当職員ミドルマネジャーの職務・職能・経験学習の意識分析～専門職活用の可能性を展望して～
- 後継者のキャリア形成が承継後の企業パフォーマンスに与える影響
- 新入社員研修のエスノグラフィ
- 学生・教員・職員の協働によるキャリア教育のプログラム評価研究 一B大学における全学教育コミュニティの事例に基づいて一
- ミドルマネジャーのリーダーシップが所属組織への満足度に与える影響
- 大企業中堅社員のキャリア形成に関する一考察
- 公務員の効果的な人脈形成について
- 保育士を目指すノンストレターとは何者か？ 一子ども・自己・学校の「発見」一
- 高校におけるキャリア教育の考察 一外部資源との連携に着目して一
- 食品メーカーA社における再雇用管理職の現状と心理的要因の分析
- 若者の学び直し・リチャレンジにおける専門家の支援 ～専門学校生の自己マネジメント能力育成の視点から～

キャリアデザイン学専攻

募集人員：修士課程20名
開講形態：夜間開講 キャンパス：市ヶ谷
長期履修制度：有
主な進路：企業人事担当者、人材ビジネス会社経営者、経営コンサルタント、大学教員、キャリアコンサルタント(カウンセラー)、高校教員、官庁職員、独立行政法人職員など